

平成19年9月5日

都市計画課

内線 3310

新しい交通システムの検討について

奈良のまちを快適に観光していただける交通システムの検討を行います。

1. 目的

奈良市特有の問題として、観光シーズン等においては観光交通による交通渋滞が著しく、市民生活にも大きな影響を及ぼしています。そこで、この問題に対処すると共に、奈良のまちを快適に観光していただくため、新たな方策についての検討及び実現に向けた整備プログラムの策定など「奈良の新しい交通システム」の構築を図り、本市が目指す都市像である「文化観光集客都市づくり」の一環としたいと考えます。

2. 検討概要

市内へのアクセスとトランスポート拠点

- ・誘導ルートの設定
- ・パークアンドバスライドの常設
(大規模駐車場の確保、観光情報提供等)

主要駅及び大規模駐車場から観光拠点地区までの交通システム

- ・自転車、ベロタクシーの活用
- ・エコバスの導入、バス専用レーン等の設置

観光拠点地区間の交通システム

- ・自転車、ベロタクシーの活用、歩いて奈良を感じるルートの設定

観光拠点地区内の「歩いての観光」のためのシステムの策定

- ・歩いての観光を基本とする仕掛け
- ・人力車、自転車などの活用

歩いての観光のための誘導ルートの設定と整備モデルの策定

- ・観光客を迎える心が伝わる市民による路地づくり

3. 検討エリア

- ・ 奈良公園周辺(ならまち含む)、平城宮跡及び近鉄西大寺駅周辺、西の京周辺を含むエリア

4. 国、県との連携

- ・ 当該システムの検討にあたっては、国、県と連携し奈良にふさわしい交通システムの構築を図りたいと考えています。

- ・ 奈良中心市街地交通処理対策検討委員会

計画中の道路整備も考慮したうえで、奈良中心市街地の交通処理のあり方等を検討し、交通処理計画の具体策を策定することを目的とした委員会が平成18年度に設置されています。委員会は、学識経験者、国、県、県警、市、市観光協会で構成され、施策の連携を図っています。

- ・ 奈良県においては、奈良公園周辺における渋滞対策について検討が進められる予定です。

5. スケジュール

- ・ 平成19年度

市内へのアクセスルートの設定やトランスポート拠点(大規模駐車場の確保、P&B Rの常設化)並びに各観光拠点地区間、拠点内のシステムなどの市案を策定し、国、県との協議及び調整をおこないながら、交通システム構築の基本的な方策案をまとめます。

- ・ 平成20年度

19年度に策定した基本的な方策案をもとに、実施に向けての検証や市民のワークショップによる「歩いての観光」のための誘導ルートの設定、観光客を迎える路地づくりなどのモデル整備案の作成、整備プログラム策定等を行います。